

コール リーダーの コラム。

なぜサポーターは歌うのか

サッカーと歌は切っても切れない関係にある。その結びつきは、恐らく他のどんなスポーツよりも一層濃く、強い。そう言える根拠は、世界中のどのスタジアムに行っても、サポーターの歌が鳴り響いていることで十分だろう。彼らの歌はサポーターズソングと呼ばれ、時にはクラブの象徴としてすら扱われる。まさに切っても切れない関係というわけだ。

一口にサポーターズソングと言ったが、いくつか種類がある。例えば、曲のサビ部分のような印象的なフレーズを利用し、それを何度もリピートする形で歌われる「チャント」や、一つの曲としての構成を持ち、長々と歌われる「ソング」。そして、ほぼメロディを持たず、手拍子と掛け声で構成される「コール」などである(コールを歌と言えどどうかはこの際置いておく)。

しかしそのいずれにせよ、サポーターが歌っていることそれ自体に変わりはない。どんな時も、どんな場所でも、サポーターというものは歌っているものなのだ。では

なぜ、サポーターは歌っているのだろうか。それにはいくつかの理由がある。

一つは、音楽の持つ力がフィールドの中のプレイヤーの心理に作用するということである。一説によると、音楽は、文章や映像などの他の媒体に比べ、より簡単に人間の気持ちに変化を与えられるものなのだそう。だから、楽しい音楽を聴けば、同調して気持ちが盛り上がる傾向はかなり強いし、その逆もまた然りである。サッカーはメンタルなスポーツだから、選手の心理に直接作用する音楽というのは、使いようによっては大きな武器になる。しかし、力が強いというのも考えもので、逆効果になった時の反動も凄まじいのだが、まあ多くは語るまい。さておき、なのでチャントを出すタイミングには細心の注意が必要である。守りきれればOKな展開でガンガン行かせても仕方ないし、逆にノリノリの場面で落ち着かせてもいけない。あまりにずっと歌っていると麻痺したり、曖昧になったり、ダレたりして効果も薄れるので、歌い続けなければならないものでもない。状況を見つつ、選手の心境を投入しながら、勝負どころでマッチした曲を歌い入れていくのが、コールリーダーの一番の仕事でもある。そういう部分に注目しながら見ると、また違った視点をサッカーを見ることができるとも思えない。なんてことを書くか、また自分の首を絞めようかな。

さて、一つめの理由を受けて考えられる疑問というのが「それなら歌じゃなくてCDとかでもいいじゃん」というものだ。しかし、それは間違いである。というのも、選手たちにとって、自分のプレーを見てもらって、それに反応してもらうということとは、大きなモチベーションになるから。人間の声は、そりゃCDプレイヤーに比べたら、音程も狂うし、音量も一定じゃない。しかし、だからこそ、選手たちにとってその時の思いが伝わる。例えば、良いプレーをすれば歌声は大きくなるし、そうすれば選手たちの気持ちも更に盛り上がる。CDよりも、アーティストの意図が分かり、リアクションが返ってくるライブが良いのと同じ理屈だ。そう、歌は声なのである。要は声援の延長上なのだ。これが二つめの理由。

そして三つめの理由。これはもうそれこそ単純で明快な理由なのだが、まあ要するに、歌うと楽しい、ということだ。まわりが知らない奴ばかりでも、同じメロディを、同じ歌詞を、同じ気持ちで歌える。まわり中の奴らと共に、自分が愛するクラブの一員として、ここに居ることを実感できる。これは凄く楽しいことだ。ただ、経験した人になかなか分らないものだろうから、この気持ちを味わうためだけにでも、一回ゴール裏に来て歌ってみることを個人的にオススメする。まあ来れば分かるよ。きつと。【ようへい】

サポ★インタビュー

～しるびさん編～

ゴール裏の住人にクローズアップするこのコーナー。2回目のゲストは、ご存知スナアの達人。どんな企画でも仕込みをやらせたらウルトラNo. 1！もちろんバンドにも一枚噛みます。しるびさんです。

—最初に山雅の試合に来たきっかけは何でしたか？
「アルウィンでのリーグの試合を観に行き、チラシをもらって山雅の存在を知ったのがきっかけですね」
—それですぐに観に行きましたか？
「そうですね。その頃はウルトラは少数でしたが、熱狂的に応援する姿を見て、自分も地元チームを応援しようと思いました」
—ではウルトラに入っていたのは？
「その次の試合ですね。近寄っていったら、ばらさん(前号参照)がおいでで、って(笑) それでドラムをやると言ったら、じゃあ太鼓叩いてください、って」
—ちょっと待った。じゃあ最初の試合でいきなり叩いたんですか！？凄いですね！なんか一瞬で行き着きましたね！(笑)
「自分としても得意なもので盛り上げられるってことに喜びを感じましたね。それで少くも選手がリッパ活躍してくれると本当に嬉しいし、それにゴール裏も一つのエンターテインメントだと思うんですよ。だから楽しんで盛り上げていきたい。UMバンドもそういう発想から生まれてきたものです」
—お。出てきましたねー、バンド。きっかけは何だったんですか？
「同じゴール裏のけしーさん(左ページ参照)と同じミュージシャンで、話が合ったのがきっかけですね。それでバンドやろうよ、と」

—へー。活動の方針としてはどんな感じなんですか？
「みんなで楽しみつつ、山雅の応援歌をライブをすることによって、ゴール裏に興味を持ってもらおうと。ゆくゆくはいろんな場所でライブをして、山雅そのものの知名度も高めていきたいですね」
—なるほど。そういえば、もうすでにバンドがきっかけで山雅の試合を見に来た人もいますよね。
「そうですね。目論見は間違ってたかな、と(笑)」
—29日にはアルウィンでライブということなんですか？
「オーディエンスとプレイヤーの垣根を無くし、もうみんなが演奏者という感じで、山雅の馴染みの曲を大合唱して、お互いモチベーションを高めて一致団結してダービーに挑もう、という感じですね。—サッカーのピッチとスタンドと同じ、垣根無く盛り上がっていく。」「そうですね。是非みんなで楽しく騒ぎましょう(笑)」
—そういう新たな試みには必ずしるびさんが絡んでますよね(笑)
「せっかこうやってみようと思った仲間ですし、老若男女で上下もないし、団結しているいろんな方面で楽しめたらいいと思いますし」
—確かに！じゃあいい言葉がもらえたところで締めです(笑) これからサポになろうという人に一言お願いします。
「あなたの声は選手の方に伝えます。だから私たちはあなたの声を待っています。最初は騒いで入って来づらいかもかもしれませんが、全然そういう壁は無いので、みんなでいっしょに応援して、チームを勝利に導きましょう！」



ウルトラスマツモトは
共に応援する仲間
を募集しています！

サポーターコラム

軽音楽部 始めました。

山雅の為に何か出来る事はないか…そんな事を漠然と考えつつも、とりあえずゴール裏で声を出す事しか出来なかった数年前。気がつけばゴール裏の人数は増え、その中にギターとベースとドラムの経験者がいた事がきっかけでした。せっかくだからバンドを組もうと話は進み、だったらやりたい人が誰でも入れるバンドにしようとして「軽音楽部」を始めました。応援で使っている原曲をコピーしてライブ活動をしていく内に、山雅の認知度が少しも上がって、応援歌が耳に馴染めば良いなあ。今はまだメンバーがなかなか集まらず、練習も進まず、ライブもやれないのが現状ですが…ゆくゆくは年に何度か、長野県各地でライブをしたいと考えています。それには多くのメンバーが必要です。これを読んで少しでも興味が湧いた方。力を貸してもらえませんか？メンバーが多く集まれば、練習も、ライブ活動もたくさ

ん出来ますし、何より楽しい。これから楽器を始めたいと言う方でも構いません。とにかく自分も何かやってみたくて言う人は連絡を下さい。
ライブの回数が増えれば、それだけ山雅の認知度が高まり、より多くの人がスタジアムに足を運んでくれるかもしれません。観客が増えれば、試合の日にシャトル便が出たり、行政へのアピールになったりするかもしれません。バンドひとつにそんな力があるかは分かりませんが、何も無いよりは効果があるのではないかと思います。
音楽には何らかの力があると思っています。音楽に励まされたり、癒されたり。そんな経験を誰しも持っているのではないかと思います。だから僕らはゴール裏で歌っている。勝利を願って声を張り上げて。……といういろいろ書いてみましたが、僕個人としては、ゴール裏で声を出す事も、バンド活動も、自分が楽しむ為にやっていたりします。この上ないストレス解消だったりします。みなさんも一緒に楽しみませんか？それではアルウィンでお待ちしております。【けしーろー】
軽音楽部入部希望者は、
snd17334@yahoo.co.jpまで！お気軽に！

ウルトラスマツモト 軽音楽部 アルウィン ライブ 開催 決定

4/29 12:00 KICK OFF
詳しくはスタッフブログ
<http://www.plus.blog.sportsnavi.com/siamot12ultras/>
にて情報を待て！

松本山雅の歴史をプレイバック！あの日、何が起ったのか。 2話 頂までの道の途中で

03北信越リーグ後期第1節 松任オレンジモンキー戦
2部への降格
2003年の北信越リーグは、翌年から2部制にするため、1回戦総当りのあとに上位と下位に分けてリーグを戦うことになり、山雅SCは下位リーグにまわった。その緒戦の相手が、今日の対戦相手フェルヴォローザの前身チーム、松任オレンジモンキー。試合はスコアレスドロー。押し気味だったんだけど決められなかった。県外のチームのサポーターを見たのはこの日が初めてだったんじゃないかな。
結局、残り2試合も連続ドロー。10チーム中9位で2部行きが決まった。当時のウルトラスのメンバーは、リードしてても追いつかれそうとか、俺たちが応援しないほうが勝つのではないかと考えることが多かった。最終戦はJSCグラウンドが会場で、山雅サポーターは僕を含めて5人。小雨の中、試合終了後に他の会場の結果が入ってきて2部行きを告げられたときのことは忘れられないと思う。でもそれから3年後には、バスツアーで10倍近い人がJSCグラウンドに行っ

求人情報

ゴール裏で応援してみたい人！
グリーンフラッグよりも大きな旗を振ってみたい人！
太鼓を叩いてみたい人！
その他UMで何かやりたい人！
UMはサポーターデビューしてみたいあなたのサポーターです。初心者でも気まぐれでも大歓迎！気軽にゴール裏まで来てください！お待ちしております！

次回予告

「歌を謳う」というテーマでお送りしましたトラスタ2号でしたが、いかがでしたか？とりあえず、ライブは楽しみにしてください！再来週はちょっと早めにアルウィンへ！試合の方の相手はどことだっけ…って早くも信州ダービーじゃありませんか！これはテーマを決めるのが楽だぞ！ということでも、もう当然「ダービーを戦おう！」が次号のテーマです。以上！
次回の配布は
4/29長野バルセイロ戦にて！